

希望を求めて

シリアで後藤健二さんたちが誘拐され殺害された事件は、日本社会に大きな衝撃と悲しみを与えました。皆様もやり場のない思いと疑問を抱かれたことでしょう。今号では、こうした疑問に少しでも答えられたらと、昨年11月末にあった酒井啓子千葉大学教授の講演内容をご紹介します。

ガザやシリアの状況がよくなる展望は全く見えない中で、若者が密出国したり自殺をしたりすることがこれまでに増えています。シリアでは4年間で20万人、ガザでは50日で2000人、ほかの国々でも非常に多くの市民が犠牲になる現状が続き、若者たちに絶望感が広がっています。アラブ世界は人口の過半数が15歳以下です。大規模な破壊や殺戮、不条理な状況が改善されないまま続くと、世界中で「イスラーム国」のような考えに惹かれる若者が減ることはないでしょう。

こうした危機的な状況で、私たちにできることは何なのか？ 非力さを嘆きしめながらも、地道に現場での活動を続けていくことだと考えています。理不尽な状況にある子どもたち一人ひとりを思い、彼らに孤立しているのではないということを伝えていくこと。

学校からドロップアウトせずに、社会の中で居場所を見いだせるようにしていくこと。親や家族を支えていくこと。もちろん日本人駐在員の安全はもとより、現地スタッフの安全にも十全の注意を払います。

日本国内もまたさまざまな問題を抱えて閉塞感が強まっていますが、中東での活動経験を活かして平和の重要性を若い世代に伝え、日本が戦争に加担することがないように、また中東出身者やイスラーム教徒などへの偏見や差別が広がらないように、活動したいと思います。引き続き、皆様のご協力をお願い申し上げます。



パレスチナ子どものキャンペーンご案内

パレスチナ 子どものキャンペーンは

1986年に活動を開始した市民のNGOです。国籍や宗教、民族にとらわれず、パレスチナと中東地域の平和を願い、そこに生きる子どもたちが希望を持って成長できるように、教育・保健・福祉分野での支援と人権擁護を進めています。また、コミュニティの強化と自立的発展に協力しています。

会員になってキャンペーン の活動を支援してください

- 会費(年会費): 4,000円、6,000円、10,000円(※ご都合にあわせて、金額をお決めいただけます)
- 年に4回の会報「サラーム」や随時のお知らせなどをお送りします。詳しくはお問い合わせ下さい。

ご寄付をお願いします

ご寄付・募金を常時受付しております。下記の口座にお振込みください。

郵便振替口座[00160-7-177367] / みずほ銀行 高田馬場支店[普通8030448]

銀行からの送金の場合は、領収書をお出しするためにご住所とお名前をメールやファックスなどでお知らせ下さい。会費のお振込みも上記の口座をご利用下さい。

クレジットカードでもご寄付いただけます。詳しくはホームページ <http://ccp-ngo.jp/> をご覧ください。

税金の控除について

パレスチナ子どものキャンペーンは税金の控除を受けられる認定NPO法人です。税金控除には、当会発行の領収書をつけて確定申告をして下さい。

特定非営利活動法人 パレスチナ子どものキャンペーン(認定NPO法人)

〒171-0031 東京都豊島区目白3-4-5アビタメジロ603 / Tel 03-3953-1393 / Fax 03-3953-1394

Eメール info@ccp-ngo.jp (新しくなりました) / ホームページ <http://ccp-ngo.jp/>

Face book パレスチナ子どものキャンペーンnew / Twitter @ccp-ngo

郵便振替口座 00160-7-177367 / みずほ銀行 高田馬場支店 普通 8030448



パレスチナ子どものキャンペーン